

作成ガイドを見て家族の状況や災害リスクなどを記入しよう!

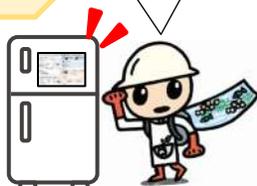
冷蔵庫や玄関など
目につく場所に貼っておこう!

手順① 家族で避難に時間がかかる人を記入

避難に時間がかかる人

いる _____ 人 ⇒ 支援してくれる人の名前

いない _____
連絡先 _____



清水町イメージキャラクター ゆうすいくん

手順② ハザードマップで自宅の危険を確認し、記入

河川氾濫の危険

浸水のおそれ 浸水なし
 浸水あり 浸水深 _____ m

家屋倒壊等氾濫想定区域に ない / ある

土砂災害の危険

- 該当なし
- 土砂災害警戒区域
- 土砂災害特別警戒区域

ご自身で必要なものをあらかじめ用意しておきましょう。
【持ち出し品リストの一例】

- 現金・通帳
- 充電器
- 飲料水
- 常備薬・持病薬
- 携帯ラジオ
- 懐中電灯
- 非常食
- 消毒液
- 携帯電話
- マスク
- 着替え
- 体温計



その他の持ち物【 _____ 】

大地震に備え、1週間分の水・食料・生活必需品の備蓄をしましょう!

手順③ 避難のタイミング、避難先、情報収集手段を記入

大雨



河川氾濫の危険

あり なし



土砂災害の危険

あり なし

ア ● 避難のタイミング

● 避難先

イ ● 情報収集手段

自由記入欄
(連絡先等)

手順④ 大地震発生時の安否確認方法を確認し、記入

大地震がおさまる

地震



- ・ブレーカーを落とす・ガスを止める
- ・窓を開ける



地区の
一次避難先

_____ に集合



自宅に被害があったら
指定避難所へ

自宅に被害がなかったら
自宅で待機

自由記入欄
(連絡先等)

避難経路



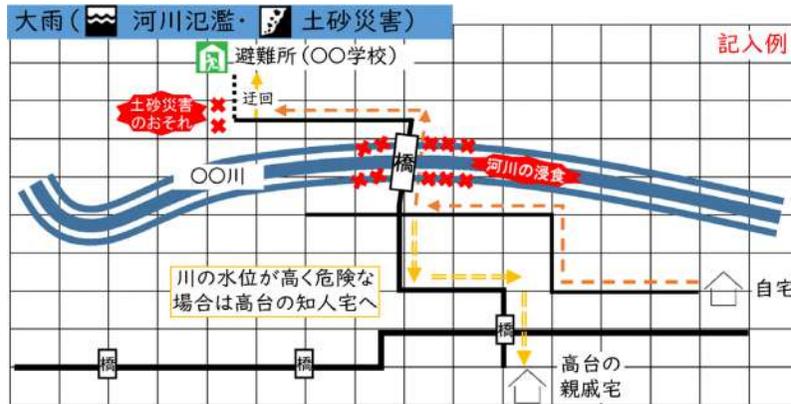
○避難するときに通る道を決めて書いておこう！

※「大雨」の場合と、「地震」の場合で避難先が変わる場合があることに注意！（「大雨」と「地震」と、両方考えておこう）

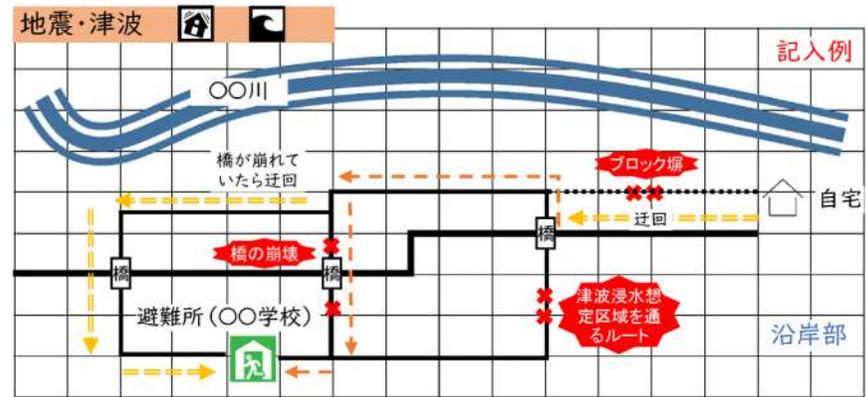
○書けたら、実際に歩いてみて、「移動にかかる時間」や、「危険そうな所がないか」を確認しておこう！（迂回するパターンも考えておこう）

Grid area for drawing evacuation routes.

避難先までにかかる時間
()



※川を通る際、橋が使えない可能性があります。
浸水危険性が低い橋に迂回するか別の避難先に避難しよう！



※古い木造住宅などが倒壊して通れない場合は、障害物が少ない道路へ迂回しよう！
また、沿岸部からの津波に注意し、なるべく高台へ避難しよう！